

目 次

はじめに

本書の見方3

第1章 群馬県における外来動物の概況4

第2章 特定外来種

- タイワンザル7
- ニートリア9
- クリハラリス（タイワンリス）11
- キタリス13
- アライグマ15
- アメリカミンク18
- ガビチョウ20
- カオジロガビチョウ22
- カオグロガビチョウ24
- ソウシチョウ25
- カミツキガメ28
- ウシガエル30
- チャネルキャットフィッシュ32
- ブルーギル33
- コクチバス35
- オオクチバス38
- セアカゴケグモ40

- セイヨウオオマルハナバチ……………41
- カワヒバリガイ……………44

Column 1 “侵略”の生態学……………47

Column 2 食用ハマグリは外来種!?
在来種のハマグリは絶滅危惧種に……………48

第3章 要注意外来種

- シマリス……………49
- コリンウズラ……………50
- アカミミガメ……………52
- アオウオ……………54
- ソウギョ……………56
- タイリクバラタナゴ……………58
- カムルチ……………60
- カラドジョウ……………62
- アメリカザリガニ……………64
- ホソオチョウ……………67
- スクミリンゴガイ……………70
- タイワンシジミ……………73

Column 3 在来種でも増えすぎは問題……………76

Column 4 外来昆虫はなぜ新天地で農作物の大敵となりがちか……………77

参考文献・引用文献・ホームページ……………78

『ブックレット・群馬大学』の刊行にあたって

著者・编者紹介